

資料－５

平成２２年度第２回

沖縄総合事務局

開発建設部

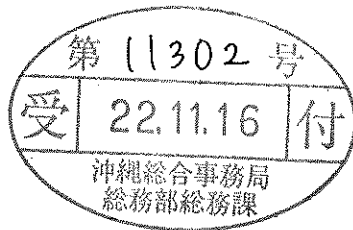
事業評価監視委員会

沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（沖縄県知事回答）

【沖縄県知事回答文書】

- 一般国道５８号読谷道路事業
- 一般国道５８号那覇西道路事業
- 一般国道３３１号豊見城道路
- 一般国道３３１号糸満道路
- 一般国道５０６号豊見城東道路
- 一般国道３２９号金武バイパス

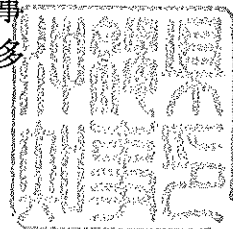
沖縄総合事務局開発建設部



土企第1667号  
平成22年11月12日

内閣府沖縄総合事務局長 殿

沖縄県知事  
仲井眞 弘多



沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成  
に係る意見照会について(回答)

平成22年11月2日付け府開建行221号で照会のありましたみだしにつ  
きまして、下記のとおり回答します。

記

一般国道58号読谷道路	事業継続に同意する
一般国道58号那覇西道路	//
一般国道331号豊見城道路	//
一般国道331号糸満道路	//
一般国道506号豊見城東道路	//
一般国道329号金武ハイパス	//

沖縄総合事務局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）への意見（詳細）

参考資料

事業名	意見内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般国道58号読谷道路</li> <li>●一般国道58号那覇西道路</li> <li>●一般国道331号豊見城道路</li> <li>●一般国道331号糸満道路</li> </ul>	<p>沖縄西海岸道路は、沖縄本島の道路網の骨格となる地域高規格道路であり、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。</p> <p>現在、延長約50kmの全長の各区間にて鋭意事業を推進されているが、暫定供用している一般国道331号豊見城道路や糸満道路の各区間においては、渋滞緩和や豊崎タウンへの企業立地促進などの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性が明らかとなっている。また、一般国道58号読谷道路についても沿道には役場や運動公園などの公共施設や大型の商業施設も整備されており、地域活性化につながると期待されている。</p> <p>このように各区間の暫定的な部分供用においても事業効果が明らかになっていることから、全線を結ぶ早期整備が必要と考える。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般国道506号豊見城東道路</li> </ul>	<p>那覇空港自動車道は、那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ、高規格道路であり、車社会である本県の振興発展に極めて重要な役割を担うものである。</p> <p>現在、暫定供用している豊見城東道路は、既に供用している南風原道路や今後整備予定の小禄道路と併せて那覇空港に接続することにより、那覇空港アクセスの高速性、定時性の確保、都市部の交通混雑の緩和、更には、観光振興並びに産業振興に寄与する道路である。平成20年3月の全線暫定供用後には、周辺一般道の渋滞が緩和されるなどの事業効果が発現されており、事業の投資効果の有効性が明らかになっている。</p> <p>しかし、豊見城道路は、現在暫定2車線であり、また、実施中の高速道路無料化社会実験に伴う交通量の増加により、那覇空港方面への交通のボトルネックとなっていることから、完成形である4車線化の早期の整備が必要と考える。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●一般国道329号金武バイパス</li> </ul>	<p>一般国道329号は、沖縄本島の道路網の骨格となる東海岸側の幹線道路であり、基地や住宅、商業施設、公共施設などが密集する金武町の中心部を通過している。その交通量は、年々増加しており、交差点や車両乗入口も多く、道路線形不良箇所が多いことから混雑を招き、旅行速度は低下傾向にある。そのため、幹線道路の本来の機能である通過交通の処理機能を十分に果たせていない状況となっている。</p> <p>これらを解消するため、一般国道329号金武バイパスが整備されているところであり、用地取得の進捗率も8割、事業全体の進捗も5割を超え、今年度末には全長5.6kmのうち3.0kmが供用予定となっていることから、早期の全線供用開始が望まれる。</p> <p>したがって、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。</p>